

令和7年度岩美町廃棄物減量等推進審議会 議事概要

1. 日 時 令和7年12月22日(月)午前10時00分～午前11時00分

2. 場 所 岩美町役場 1階 庁議室

3. 出席者 【委員】5名 【事務局】2名

4. 概 要

○町長あいさつ

○委員自己紹介

所用のため当日欠席した委員について報告

○議事1 正副会長の選出について

以後の議事について会長が進行

○議事2 ごみ処理の現状について説明

<事務局>

(1)可燃ごみ処理量について

令和6年度の処理量2,003トンのうち、家庭から排出されたもの1,490トン、事業所からのものは513トンであります。令和4年度以降わずかですが減少に転じています。人口の減少もあり今後も減少していくと思われます。

また、町では第3期岩美町地域創生総合戦略を策定しており、家庭ごみの可燃ごみ処理量を、1,541トン(令和5年度末)から令和9年度末までに1,457トンになるよう目標を設定しております。令和6年度末の実績は1,455トンで、令和6年度末目標の1,524トンを下回りました。

(2)不燃ごみ処理量について

令和6年度は、資源ごみ、プラスチックごみ、小型破碎ごみ、大型資源ごみが、前年度と比較して減少しております。

一方、ペットボトルはわずかですが増加しております。

「小型破碎ごみ」は、令和6年4月から「有害ごみ」の収集が始まった関係で、減少の割合が大きくなっています。

議事2について質疑

<委員>

有害ごみの出し方についての問い合わせはどうか。

<事務局>

開始当初と比べると減ってきている。

<委員>

各地区ステーションにコンテナを配布しているが、ごみの種類によって色分けはできないか。

<事務局>

在庫があるため難しい。次回購入する際には検討したい。

○議事3 ごみの減量に向けた取組みについて説明

<事務局>

(1)生ごみ減量化への取組

生ごみ減量対策として、コンポスト容器や生ごみ処理機の購入に対する助成を実施しており、令和6年度実績として、生ごみ処理機の助成は、12件と令和5年度と比較して大きく増加しました。コンポスト購入助成については2件と少ない状況でした。

(2)ごみのリサイクルへの取組

資源回収活動につきましては2年続けて資源回収量が減少しています。町内各地に回収ステーションがあり、資源回収も困難な部分もあるかと思われませんが、引き続き活動を支援していきたいと考えております。町の収集による古紙回収についても年々減少しております。

(3)ごみの再資源化への取組について

布団・衣類の回収につきましては、取組み開始時の令和3年度の15トンから、年々増加し、令和6年度は26トンとなりました。このように、可燃ごみとして出していた衣類が、固形燃料として活用できることを、多くの町民の方に知っていただけるよう、より一層の周知を行っていきたいと思います。

議事3について質疑

<委員>

生ごみの堆肥化の検討について

<事務局>

昨年度、町民の方から生ごみの堆肥化についての意見をいただきましたが、現状での実施は難しいと回答しています。

○議事4 ごみ減量化の啓発活動について説明

<事務局>

「地区公民館に生ごみ処理機を設置してお試して使ってみてはどうか」との意見がありましたが、まずは周知を行うことからということで、広報いわみ内で補助制度の内容について掲載しました。また、ホームページや CATV の文字放送でも案内しております。

ごみの減量化やごみの出し方について、東部環境公社さんが作成された動画を、岩美町トピックスの中で放送しました。

有害ごみについては、今一度ご理解いただくため、令和7年4月の広報に記事を掲載しました。

議事4について質疑なし

○議事5 その他

<事務局>

4月に策定した地球温暖化対策実行計画の中で「4R 運動の推進」を行動指標としています。4R とはごみ袋などを断る(リフューズ)、繰り返し使う(リユース)、減らす(リデュース)、再資源化する(リサイクル)の4つの R のことで、「布団・衣類の再資源化の推進」や「ごみの出し方の出前講座の実施」に取り組むこととしています。皆さんにもご協力いただくようお願いいたします。

議事5について質疑なし

○閉会